

第3回 甲府市上下水道事業推進会議 書面会議報告書

- 会議の名称：第3回 甲府市上下水道事業推進会議
- 開催日時：令和4年2月18日（金）
- 開催方法：書面開催
- 委員：風間ふたば委員、落合圭子委員、
中澤謙一郎委員、石平 博委員、野村千佳子委員、
大久保一雄委員、小沢忠雄委員
- 議 事：（1）「第5次戦略推進計画（案）」について
ア「第5次戦略推進計画（案）」
イ「令和4年度お客様満足度調査」
（2）その他
- 議事について「書面回答票」による意見等

（1）ア「第5次戦略推進計画（案）」について

【委員】

「事業番号8 総合的危機管理対策の強化」における災害時の想定について、最近の災害については「想定外」という事態が起きるようですので、充分慎重な想定をお願いしたい。

⇒【事務局】慎重な想定をしても想定できない事象が発生する場合がありますので、想定外の事象が発生した場合でも、現在のマニュアルを応用し臨機応変に行動できるような実践的な訓練の実施に努めてまいります。

「事業番号26 戦略的PR活動の展開」について、WEB「あたりまえの裏にあるもの」の完結を早期に行い、もっと大々的なPRを行ってほしい。甲府市役所（本庁舎）においても放映、イベント等を行ってほしい。また、市内の小中学校とも連携して児童等への啓発も必要ではないでしょうか。

⇒【事務局】いただいたご意見を参考に、特設WEBサイトを最大限活用できる方法を検討してまいります。また、小中学校と連携を図り児童等への啓発に努めてまいります。

「事業番号27 情報共有、協働による相互理解を深めた事業運営（広報等）」について、調査において「料金」に対する意見が多い。インフラとして良質な水資源確保にはコストがかかること、特に排水（下水）についても管理を行なっており、自然体系の中で水資源を潤滑に循環させることが重要なことなどを、WEB「あたりまえの裏にあるもの」などにおいても説明したらどうでしょうか。ただし、このコロナ禍にあっては自宅にいる時間も多くなりますので、水道料のみならず電気、ガス等のインフラ料金については、助成や補助等の行政的救済措置も必要かと思えます。

⇒【事務局】特設WEBサイトは、今後も内容の充実を図っていく予定でありますので、貴重なご意見として参考とさせていただきます。

水道料金等の救済措置（減免等）につきましても、その措置による収入の減少がお客様の負担増に繋がることも想定されます。人口減少等に伴い、今後も収入の減少が見込まれる中、健全な経営を確保するためには、救済措置の実施の判断は大変困難であると考えております。

【委員】

「事業番号7 直結給水方式普及事業」について、受水槽で発生しやすい水質劣化の問題を解消し、おいしい水道水を直接お届けするため、直結増圧給水を認可し、直結給水方式の普及を促進する為に、現在利用中の受水槽から直結給水に変える場合の費用に補助金を出して普及を促進すると言う考えは、いかがですか。

⇒【事務局】現在、新規の建築物に直結給水方式を採用していただけるよう啓発に努めておりますが、今後、より普及促進するため他都市における手法など調査・研究してまいります。

【委員】

「事業番号4 水源域の水質調査事業」について、水源域の水質調査事業で水質調査の実施回数は、十分なのでしょうか。

⇒【事務局】水道水の原水に係る水質検査は、少なくとも年1回実施することとなっておりますが、荒川上流については荒川ダムを中心に富栄養化等の観点から、ダム水については年12回、ダムの上流、下流の2地点については四季の変化を見るため、年4回、昭和系・中道系の地下水に

については、ほとんど水質の変化がないため年1回実施していることから、実施回数は充分であると考えております。

(1) イ「令和4年度お客様満足度調査」について

【委員】

過去のアンケートの自由記載中に施設見学に興味をお持ちの記載が散見されました。自由記述の項目に、アンケートの中にイベント等の簡単な紹介を入れたらいかがでしょうか。

⇒【事務局】貴重なご意見として、より良いアンケート調査となるよう検討させていただきます。

【委員】

水道水に対する満足度については、利用者の80%以上が、水道水の「質」という面においては、満足しているようですが、「料金」という面では、不満気味であるように見受けられるので、少しでも料金の軽減ができればと思います。

⇒【事務局】令和3年4月1日現在、甲府市の1カ月10m³使用（口径13mmによる）した場合の水道料金は1,199円であり、全国平均（1,597円）と比較して398円低い状況であります。このような情報を調査票内に記載するなど、より良いアンケート調査となるよう検討するとともに、今後も健全な経営の確保に努めてまいります。

(2) 「その他」について

【委員】

水道使用料が多い月に通知していただき、一利用者として大変有難く嬉しく思いました。利用者への思いやりあるサービスを続けていただきたいと存じます。

⇒【事務局】今後も料金や漏水等の通知サービスを継続してまいります。

【委員】

「第5次戦略推進計画 水道事業番号26 戦略的PR活動の展開」において、戦略的PR活動の一環として、ボトルドウォーター「甲府の水」を活用した水道水のPR活動が挙げられておりますが、社会全体でのプラスチック消費量削減の流れの中で、ペットボトルでの提供が、今後難しくなる可能性もあります。ここ数年でペットボトルがすぐになくなるようなことはありませんし、基本的に良い／有効なPR手段と思いますが、他の水道事業体での例も見ながら長期的には、少し考える必要があるかもしれません。*横浜市のペットボトル製造終了のパンフレット（参考資料）⇒【事務局】ペットボトルは、水道水のPR用や、災害時の備蓄用として適している素材と考えておりますが、環境負荷になることも承知しております。このことから、今後は、SDGsの推進など、社会情勢の変化への対応という観点から、ペットボトルを頒布することを含め、PR方法のあり方について調査・検討してまいります。

【委員】

水道料金について、下水道料金については、メーターの取付は、できないだろうから、上水道のメーターで課金するのは分かりますが、早見表によると13mm径で使用水量8～22立法メートルの場合は下水道料金の方が高くなります。基本料によるものだと思いますが、上水道より下水道料金の方が、高くなるのは矛盾と思えます。計算式においても、上水、下水とも同じメーター量を使用していますが「上水で流れた水量のどの程度が下水に流れるか」という発想の算式の方が市民には分かりやすいのかと思います。

⇒【事務局】いただいたご意見を参考に、今後も適正な料金等の継続的な検討に努めてまいります。

委員の一員となりまして、最も感じていることは、どちらかと言えば、「下水」です。水質の良さは確かに「あたりまえ」と思ってしまえるのですが、排水（下水）についても管理を行なっており、それが自然循環的にも良質な水資源に繋がることを学びました。「下水」については、一般的には「目に見えない部分」であり、我々も油類等を流しがちですが、一

般家庭においても排水に気を遣い、油類やゴミ等を流さないことが次世代の良質な水資源に繋がることを意識するようPRしていただきたい。

⇒【事務局】「水道だより（下図参照）」に掲載しPRしておりますが、ホームページなど他の方法によるPRも検討してまいります。



【委員】

「第5次戦略推進計画」における持続可能な開発目標（SDGs）の推進について、前回お話した「SDGsと事業を紐付けしたらどうか」という意見を早速計画化していただき、ありがとうございました。実現に向けて良い話し合いが、できると良いと思います。

⇒【事務局】開発目標の達成に寄与することができるよう、より積極的、戦略的なPRに努めてまいります。

以上